

令和 8 年 2 月 3 日
生活文化政策部
学校教育部

広島市への中学生派遣事業について

1 主旨

広島平和文化センター（平和首長会議事務局）が実施する「ヒロシマ平和学習受入プログラム」を活用し、次世代を担う中学生を平和記念式典が開催される 8 月 6 日に合わせて派遣する、広島市への中学生派遣事業を令和 8 年度より実施する。

2 目的

原爆ドーム等の平和関連施設の見学や被爆体験者から直接当時の状況を聞くなど、生徒が被爆地・広島を直接訪れ、実際に見聞きすることで、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、各校で伝えるとともに平和をつくりだす人材を育成する。

3 派遣概要

(1) 派遣日程

令和 8 年 8 月 5 日（水）～ 7 日（金）

(2) 派遣生徒等

①区立中学校 2 年生 30 名（各中学校から 1 名）

②引率 5 名

教員 3 名、せたがや未来の平和館専門員 1 名、事務職員 1 名

③その他

生徒の健康管理上の観点から、看護師（派遣契約）1 名を帯同させる。

(3) 参加内容

①広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式典への出席

②平和関連施設等でのフィールドワーク（原爆ドーム、被爆樹木めぐり等）

③広島平和文化センターが主催する「ヒロシマ平和学習プログラム」への参加
・第 2 回全国こどもサミット、第 2 回全国平和学習の集い

4 事前・事後報告会等の実施

(1) 事前学習会

派遣生徒の顔合わせを行い、派遣目的の共有と事前学習を実施する。

(2) 事後報告会

全体での報告会と各学校で報告会を行う。

(3) 報告書の発行

派遣結果の報告書を発行する。

5 概算経費（令和8年度当初予算要求額）

約6,056千円

〔内訳〕

報償費 約32千円（現地での被爆者体験講話謝礼）

旅費 約200千円（事前調査旅費）

委託料 約4,766千円（旅行業者への委託料）

需用費 約218千円（熱中症対策など）

印刷製本費 約842千円（報告書発行）

※国際平和交流基金の活用や広島平和文化センターが実施する「若い世代による被爆地での平和学習支援補助金」を申請する予定。

6 今後のスケジュール（予定）

令和8年	4月	旅行業者入札、看護師派遣契約締結
	4～6月	派遣生徒の募集・決定 引率教員、引率職員の決定
	6月	実地踏査
	7月	事前学習会
	8月5～7日	派遣
	10月頃～	事後報告会（全体） 事後報告会（各校）
令和9年	2月頃	派遣報告書の発行